

平成27年度 学校関係者評価報告書



平成27年12月

学校法人シモヅノ学園

国際動物専門学校

学校法人 シモゾノ学園

教 育 理 念

心を大切に

感謝の気持ちで自然を思い

人と動物の真の共存共生

教 育 方 針

【専 門 性 の 追 求】

教育を取り巻く環境をしっかりと理解し、
動物業界で求められる知識・技術を追求し、
戦力となる人材（財）を育成します。

【道徳性・人間性の育成】

感謝の心を失わず、
挨拶をはじめコミュニケーション能力の高い、
品格の備わった人材（財）を育成します。

【動 物 福 祉 の 実 践】

動物の生命及び尊厳を守る精神を養い、
自然・環境・動物との共存共生を実践し、
広く社会に貢献できる人材（財）を育成します。

学校法人シモヅノ学園 学校関係者評価報告について

今年度の学校関係者評価委員会の開催により、学校に関連する企業・業界の方々から動物業界職業人としての必要能力、または期待能力等について、ご意見、ご指導を頂きました。また、学校運営に関しましては的確なご意見、ご指導を賜ることが出来ました。教育活動・学校運営の質を更に向上させる上で、大変貴重なご提案も得ることが出来ましたことで、学校評価の重要性を改めて認識する次第でございます。貴重なご意見、ご提案を改善取組みに反映し、今後もより良い教育活動、学校運営を目指し、教職員一同努めて参る所存でございますので、一層のご指導・ご支援を賜れますれば幸甚でございます。

平成27年12月

学校法人シモヅノ学園
理事長 下 蘭 惠子

1 学校関係者評価委員

	氏名	所属・関係	役職	備考
1	中島 秀輔	(社)日本ペットサロン協会	事務局長	委員長
2	横田 淳子	(社)日本動物看護職協会	会長	委員
3	森部 暢章	国際動物専門学校卒業生		委員
4	大江 記代子	国際動物専門学校保護者		委員

2 学校関係者評価委員会議事録

会議名	学校関係者委員会（第1回）
開催日時	平成27年6月12日（金）17:00～18:00
場所	国際動物専門学校4階
出席者	①学校関係者評価委員 中島 秀輔 横田 淳子 森部 暢明 大江 記代子 ②自己点検評価委員 下菌 恵子 下菌 智一 大坪 利久 今西 孝一 吉川 鉄平 山下 真理子 ③事務局 岸田 昌也 有倉 豊 (参加者合計12名)
議題等	1 理事長挨拶（下菌恵子理事長） 2 委員紹介（事務局）

	<p>3 学校関係者委員会 委員長選任</p> <p>4 概要説明（大坪事務局長） 学校関係者評価の活用、進め方、スケジュール、評価の視点について資料に基づき説明</p> <p>5 学内見学</p> <p>6 意見交換</p> <p>7 次回の会議日程について（事務局） 第2回学校関係者評価委員会 平成27年9月18日（金）17：00より開催</p> <p>8 閉式の辞（今西孝一教務部長）</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
--	---

会議名	学校関係者委員会（第2回）
開催日時	平成27年10月8日（木）17：00～18：15
場 所	国際動物専門学校4階
出席者	<p>①学校関係者評価委員 中島 秀輔 横田 淳子 大江 記代子</p> <p>②自己点検評価委員 下藪 恵子 下藪 智一 大坪 利久 今西 孝一 吉川 鉄平 山下 眞理子</p>

	<p>③事務局 岸田 昌也 有倉 豊 (参加者合計 12 名)</p>
<p>議 題 等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 理事長挨拶（下藺恵子理事長） 2 委員紹介（事務局） 3 平成 27 年度自己点検・自己評価結果報告 自己点検評価（内部監査）報告書について説明 各評価点検項目について個々に担当部署より説明 4 平成 27 年度学校関係者評価作成について 学校関係者評価の作成・評価の方法について説明 5 意見交換 6 次回の会議日程について（事務局） 第 3 回学校関係者評価委員会 平成 27 年 11 月 10 日（火）開催 7 閉式の辞（大坪事務局長） <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

会議名	学校関係者委員会（第3回）
開催日時	平成27年11月10日（火）17:00～18:15
場所	国際動物専門学校4階
出席者	<p>①学校関係者評価委員 中島 秀輔 横田 淳子 森部 暢明 大江 記代子</p> <p>②自己点検評価委員 下菌 恵子 下菌 智一 大坪 利久 今西 孝一 吉川 鉄平 山下 真理子</p> <p>③事務局 岸田 昌也 有倉 豊 （参加者合計12名）</p>
議題等	<p>1 理事長挨拶（下菌恵子理事長）</p> <p>2 学校関係者評価報告 各委員より評価報告書の内容に関する意見及び改善提案等について報告。</p> <p>3 意見交換</p> <p>4 次回の会議日程について（事務局） 第4回学校関係者評価委員会 平成28年3月28日（月） 大宮国際動物専門学校にて開催予定</p> <p>5 閉式の辞（下菌智一副理事長）</p> <p>閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

3 学校関係者評価の観点について

学校関係者評価は下記の観点に基づき評価しております。

- ① 学校法人シモヅノ学園国際動物専門学校自己点検・自己評価報告書に基づき、教職員の意見聴取及び学校施設等の視察を行う。
- ② 学校が設定した評価項目の達成及び取組み状況を点検する。
- ③ 動物医療等の職業教育・専門技術教育を展開する高等教育機関である専門学校としての特色を踏まえ、自己点検・自己評価が行われていることを確認する。
- ④ 自己点検・自己評価において認識された課題や今後の改善方策を確認する。
- ⑤ 総評は、基準ごとの評価結果を踏まえた内容とし、「適切。ほぼ適切。やや不適切。不適切。」を明らかにする。

4 評価項目の達成及び取組状況

①教育理念・目標

自己点検評価結果

1 教育理念・目標		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
1	1 理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1	
1	2 学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	④ 3 2 1	
1	3 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④ 3 2 1	
1	4 学校における職業教育の特色は明確になっているか	④ 3 2 1	
1	5 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1	学生及び保護者に向けての周知方法を検討、改善していく。具体的には学生の手引き等への適切な記載、保護者会の開催、保護者向けの通信の発行など。

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

学校の教育理念、目的や人材育成像は学校案内書への掲載や学生の手引きなどを配布するだけでなく、学生、保護者へ直接周知させ、また十分に理解させていく工夫が必要である。そのために学生、保護者が理解し易いよう、たとえば保護者会や授業参観などの開催も検討いただきたい。

また職業教育では変化する業界ニーズや動向などの情報を素早く教育カリキュラムや授業、実習に取り入れる柔軟な対応が大切であり、教育方針に掲げている社会人材や人間力の養成なども学生一人一人がしっかりと身に付けていけるような教育体制が望ましい。

②学校運営

自己点検評価結果

2 学校運営			適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1	課題・問題点・改善点
2	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか	④ 3 2 1	
2	2	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1	学園本部会議の組織上の位置づけを明確にする
2	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④ 3 2 1	
2	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1	
2	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	④ 3 2 1	
2	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	④ 3 2 1	
2	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4 ③ 2 1	毎年度の講師ミーティングの実施や方針説明会で講師との学科方針などを共有、但し現状は開催頻度が少ないため、今後は半期ごとに開催することが望ましい。
2	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1	コンプライアンス推進規程の内容を再度整備する必要がある。また規程に対しての周知を徹底させる。
2	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1	
2	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④ 3 2 1	
2	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	④ 3 2 1	教育方針や目標における課題に対しての具体的な改善計画の策定が不十分である。事業計画の策定期の見直しも必要
2	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順(予防処置及び是正処置)を確立しているか	4 ③ 2 1	クレーム対応マニュアル等規程の内容を整備する必要がある。規程に対しての周知を徹底することと組織的な対応の業務システムを構築させる必要がある。
2	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	④ 3 2 1	

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

学生と教育を担う専任教員及び非常勤講師とのコミュニケーションや情報共有の場を確保し、保護者から学校側への意見や要望などを密接に図られるような教育体制を期待している。

また学園の運営組織における意思決定システムがより明確にされるよう組織体制の整備も検討を望む。

③教育活動

自己点検評価結果

3 教育活動			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
3	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1	学生手帳として学生へ携行させることを検討する
3	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1	
3	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1	
3	4	動物関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④ 3 2 1	教員の研修報告書について書式の統一を検討する
3	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1	実習プロトコルの提示を検討 実習とコマシラバスと紐付していけるようにしていく 企業に対して取得資格について説明、提示できるよう検討
3	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1	
3	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	4 3 ② 1	H27年度コマシラバスを集約し H28年度にはコマシラバスを整える
3	8	動物関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	④ 3 2 1	
3	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	4 3 ② 1	H28年度から学生にはシラバス概要のみを配布し、将来的にはコマシラバスまで配布することを視野に準備を進めていくよう改善に向けて取り組んでいる
3	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	④ 3 2 1	
3	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4 ③ 2 1	アンケートに設備や教材に関する項目を追加していく 授業アンケートのみでの評価のため3とする

3	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	④	3	2	1	学生手帳を導入した場合はエビデンスとして追加する 仮進級についてのメリット、デメリットを明確にして整理する
3	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1	看護科の委託実習については委託先や実施内容の変更を検討(赤坂動物病院)
3	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	③	2	1	授業評価スケールは今年度実施していないため、制度として存在するとしてエビデンスに組み込む 授業参観が実施できていないため3 非常勤講師が適材適所でなされているかが課題
3	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	③	2	1	学内で個人情報について取り扱いの改善に努めているが、徹底と保護規定については、現状では案の段であることから3とする
3	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況(学習環境等)を確認・検証しているか	4	③	2	1	学習環境等は、教育内容、設備、教材なども含める 研修検証報告は統一した書式で作成していくことを検討 教員に対して、何が必要なスキルなのか整理する 教科書選定委員の設置を検討 (H27年度は各科での教材会議の記録を集約しておく) 教材の検証が無いため3とする
3	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	③	2	1	教師に対する模擬授業評価の導入をしていく 教職員、講師の職歴、資格に対する情報の把握が足りていないため3とする 教職員、講師の経歴、資格リストを作成
3	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	4	③	2	1	教師に対する模擬授業評価の導入をしていく 教職員の職歴、資格に対する情報の把握と評価体制に課題があるため2とする
3	19	動物関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	③	2	1	教師力に対する研修が足りていないため3とする 教員に対して何の能力が足りていないか明示していく必要がある
3	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか(研修等の効果进行评估し、文書により記録しているか)	4	③	2	1	事務、広報に研修報告書を確認する エビデンスが揃った段階で評価するため3とする
3	21	動物関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1	エビデンスが揃っているため4とする

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

学生による授業アンケートの実施は授業方法や指導方法などを見直すことや教員に対する評価や要望により教員の育成にもつながるものとして効果が期待できる。

また教員自身が就職先などの職場ニーズや動向を知ることも大切なことであり、積極的に企業での研修を受ける機会を設けることを検討されたい。

④学修成果

自己点検評価結果

4 学修成果		適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
4	1	④ 3 2 1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか 美容科とトレーナー学科は社内検定を実施しているが、看護科と飼育科にはない
4	2	4 ③ 2 1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか 情報の網羅までできていない 卒業生から情報を得る術があまりない。卒業生から学校へアプローチする仕掛けが必要
4	3	4 ③ 2 1	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか コマシラバスが未完のため3
4	4	4 3 ② 1	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか 年間スケジュール検討委員会の設置を検討し、スケジュールを決めて記録を残していく
4	5	④ 3 2 1	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか 現状、出席状況は出ない書式になっているが、企業側から出席状況に関するニーズもある 必要に応じて対応できているため4とする
4	6	4 ③ 2 1	ニーズ調査結果に基づき目的(到達目標)を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか ニーズの指しているものは、企業とするか、学生として捉えるかでエビデンスが変わってくる。 満足度調査報告書があるため3とする。報告書の数が多くはないので3とする ・就職担当の企業訪問活動で回収していく
4	7	④ 3 2 1	学習サービス(教育・訓練)を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか エビデンスが揃っているため4とする
4	8	④ 3 2 1	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか 卒業生からの情報を取り切れていないため3としているが、キャリア教育を実施しているため4 卒業生に対するものだけでなく、企業に対しても情報を得ていく アドバンス教育システムを検討する

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

卒業生の現況調査や就職先企業からの「満足度調査」の実施を通して企業からの情報を学校の教育に活用できる工夫が望ましい。また学外実習（インターンシップ）は学生が実習先による習得内容に格差が生じないような配慮も実施体制において必要である。

⑤学生支援

自己点検評価結果

5 学生支援			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
5	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	就職相談室備品リスト、就職相談室利用者リストを作成する
5	2	学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1	
5	3	保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1	
5	4	卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1	卒業生の訪問記録及び卒業生の相談記録を残す。卒業生の就職相談室の利用記録を残す
5	5	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	④ 3 2 1	各種サポートに関して学生の手引きに記載して案内する
5	6	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1	
5	7	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1	保健室の利用案内を作成する
5	8	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1	
5	9	学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1	
5	10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1	

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

それぞれの校舎による施設・設備に偏りが生じないような工夫と配慮が必要。また保護者会の実施や保護者面談などで保護者と適切に連携が取れる体制を図り、学校生活の現況や就職状況などの情報が適宜共有できる場を設けることも必要である。就職に関しては就職率の向上を図るだけでなく、継続的な就業ができるような就職先の確保も期待したい。

⑥教育環境

自己点検評価結果

6 教育環境			適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや不適切・・・2、不適切・・・1	課題・問題点・改善点
6	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④ 3 2 1	
6	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	④ 3 2 1	
6	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	④ 3 2 1	
6	4	防災に対する体制は整備されているか	④ 3 2 1	備蓄物資については十分とは言えない
6	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④ 3 2 1	学外実習施設はない。

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

インターンシップによる企業の繁忙状況を考慮し、学生自身が学外実習の実施を特定時期に捉われず実施時期を柔軟に変更できるようなスライド制などの工夫も検討してはどうか。

学外実習施設は連携できる実習先を設けるなど多くの実習先と提携できるような体制を図ることを望む。

災害に対しては予測されるあらゆる事態に備えた危機管理体制を図るための体制整備を検討されたい。

⑦学生の受入れ募集

自己点検評価結果

7 学生の受入れ募集			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
7	1	学生募集活動は、適正に行われているか(例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか)	④ 3 2 1	
7	2	履歴書(学歴、所有資格など)を適切に入手し、適切な管理を行っているか	④ 3 2 1	
7	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	④ 3 2 1	
7	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	④ 3 2 1	
7	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1	
7	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4 ③ 2 1	エビデンス不可。学校基本情報追加で適へ。 入学前の段階での説明が不足しているので次年度以降オープンキャンパス等での説明を改善する。
7	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4 ③ 2 1	
7	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	④ 3 2 1	
7	9	学納金は妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

学校案内書や募集要項などには授業・実習に必要な適切な教材・教科書の選定と費用明細が明確化にされており、学生や保護者が理解し易く、また分かりやすい表記がされている。

⑧教育の内部質保証システム

自己点検評価結果

8 教育の内部質保証システム			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
8	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1	個人情報保護規定は現状では案であるが、早急に完成を目指す
8	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1	個人情報保護規定は引き続き検討中
8	3	文書管理規程、文書管理リスト(ファイル管理簿)ならびに決裁の流れを含む決裁規程(文書処理規程)が文書化されているか	④ 3 2 1	文書管理リストを追加
8	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	4 ③ 2 1	
8	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4 ③ 2 1	
8	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4 ③ 2 1	学校関係者評価委員会からの指摘事項を明確にしている議事録がある
8	7	自己点検・評価結果を公開しているか	④ 3 2 1	

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

学校評価等の内部監査の実施は自己点検・評価の実施に加え更に評価結果の適格性や妥当性が確認できた。また改善すべき点も明確化され、現状の課題や問題点に対する取り組みを積極的に実施することが望ましい。

⑨財務

自己点検評価結果

9 財務			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
9	1	財務について会計監査が適正に行われているか	④ 3 2 1	
9	2	財務情報公開の体制整備はできているか	④ 3 2 1	情報公開のための規定が未整備
9	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④ 3 2 1	
9	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④ 3 2 1	

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

安定した学生数を確保し財務基盤を構築していくことが適正な学校運営につながる。そのために中期的財務計画の策定見直しをされたい。
また財務情報の公開体制を整備し直すことも今後検討が必要である。

⑩社会貢献・地域貢献

自己点検評価結果

10 社会貢献・地域貢献			適切・4、ほぼ適切・3、 やや不適切・2、不適切・1	課題・問題点・改善点
10	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④ 3 2 1	
10	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④ 3 2 1	
10	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1	

学校関係者評価総括（中島秀輔委員長）

学校として地域活動へ参加し貢献することは地域とのつながりを保ち、学校教育を理解していただく上でも大きな意義を持つ。地域に対する生涯学習の場を設けるなど、社会人のための公開講座を開催することも望ましい。またボランティア活動に参加するなど学校として社会貢献に取り組みかつ参加していくことは社会人を目指す学生にとっては貴重な体験となるので学校として積極的に取り組みを検討されたい。

5 学校関係者評価委員会からのご意見・ご指導等

●横田淳子委員

動物看護師の勤務年数が5年以下という点から、適切な就職指導をすることでニーズに対応したより人間力のある人材の輩出に期待しています。勤務してからの自身の生活が、描けるように学生のうちから指導をお願いしたい。そのためには設備の充実、教員人材育成にも尽力頂きたい。また、多くの卒業生を輩出しておりますので、先輩の姿から学ぶ機会があっても良いと考えます。

学校案内の費用面については分かり易い表記で充実しており、入学希望者や保護者の理解が得られていれば問題はないが、質問や不安の解消については、次年度以降積極的な取り組みを望みます。

ボランティア活動については学生のうちから取り組むことはとても大切だと思います。地域に密着した活動、学生と地域の方が一緒に出来る講座の開催なども良いかと思えます。

●森部暢明委員

人間力を1人1人伸ばしていく育成に力を入れてほしいと思います。2年間しかない学生生活の中で技術や知識だけではなくお金を稼ぐ、お給料を頂く事についての教育が必要だと考えます。今後は卒業生やショップ・動物病院のオーナーの活きた声を学生に直接伝えるような教育が必要でしょう。また、専門学校に在籍している期間は高校生のような甘い環境はいらないと思います。社会へ出るまでの準備期間であると捉えれば、社会人として対応することで学生自ら自覚することに期待したい。

●大江記代子委員

教育理念・目的は学生の手引きに記載され配布されているが、学生は内容の把握までは出来ていないと感じます。保護者とは適切に連携しているとは言えないため、学生や保護者からの苦情や要請については、保護者会を開催することで対応することが可能であると思います。

学外授業に関するアンケートは実施しているが、通常授業に関するアンケートはまだ実施していない様であるため、教員によって指導内容が異なる場合は学生が困惑するので、早期にアンケートの実施を希望致します。

入学時に学費等の説明がきちんとなされており、学外施設実習費等も含まれているため、後日の集金がほとんどないことは保護者としては安心できます。

ボランティア活動に関しては何かしらの形で地域貢献出来れば良いのではないのでしょうか。

6 学校関係者評価委員会実施風景

